

CSPにJR東日本社長から感謝状

新潟県中越地震被害早期復旧や代行輸送に尽力の関係者として

CSPに、東日本旅客鉄道株式会社(JR 東日本)の大塚陸毅社長の感謝状が3月24日贈られました。

JR 東日本では、昨年10月23日の新潟県中越地震により不通となった、上越新幹線をはじめ各在来線の早期運転再開に向けて、鉄道施設の復旧やバス代行輸送とその乗客の案内・誘導に努めたグループ会社、関係機関合計65社に感謝状を贈ることを決めました。

CSPへの授与は、バス代替輸送のターミナルとなった越後湯沢駅と同駅駐車場でいった、JR乗降客への適切な案内・誘導業務に対するものです。

感謝状は、福西社長らも同席の中で、JR東日本鉄道事業本部の日野正夫営業部次長から、熊谷支社で一連の案内・誘導業務を統括した加瀬田桂司業務課長代理に贈られました。



左から日野次長、加瀬田課長代理、福西社長